

設計年度	令和6年度	工事名	6年災第8608号(繰越) 村道赤松滝ノ沢線 道路災害復旧工事		
地 域	山形県	地 区	05:新庄	適用日付	令和7年3月
工事箇所	最上郡大蔵村大字赤松字楯ヶ沢 地内				
	6年災第8608号				
工事内容	復旧延長	L=	19.0	m	
	擁壁工(Coブロック積工)		10	m2	
	小口止工		2	箇所	
	取付工		1	箇所	
	舗装復旧工		49	m2	
	舗装版撤去工		48	m	
請 負 額		消費税相当額		工事価格	

経 費 総 括 表

経費工種 : 道路改良工事

前払い金支出割合 : 35%を超え40%以下

現場環境改善費 : 計上しない

施工地域・工事場所区分 : 補正なし

冬期補正係数 : 補正なし

契約保証補正值 : 金銭的保証が必要な場合

工 事 区 分	金 額	摘 要
直接工事費		
共通仮設費		
現場管理費		
工事原価		
一般管理費		
工事価格		
消費税相当額		
請負工事価格		

本 工 事 費 内 訳 書

道路改良工事

費目 / 工種 / 種別 / 細別 / 規格	単 位	当 初			変 更			摘 要
		数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
令和6年災 第8608号 村道赤松滝ノ沢線-楯ヶ沢	式	1						
土工	式	1						
掘削 土砂 オープンカット 押土無 障害無 5,000m3未満	m3	30						施工 第 0001号単価表
床掘り 土砂 施工方法:標準 土留無し 障害の有無:無し	m3	10						施工 第 0002号単価表
路床盛土 施工幅員:2.5m未満	m3	1						施工 第 0003号単価表
埋戻し 施工方法:最大埋戻幅1m未満	m3	4						施工 第 0004号単価表
土砂又はずり等 最大粒径300mm	m3	3						
土砂等運搬 L=11.4km 標準 バックホウ山積0.8m3 土砂 DID無	m3	30						施工 第 0005号単価表
[新庄]一般財団法人 最上建設クラブ 土質改良プラント コーン指数 $\geq 800\text{kN/m}^2$	m3	30						
擁壁工	式	1						

本 工 事 費 内 訳 書

道路改良工事

費目 / 工種 / 種別 / 細別 / 規格	単 位	当 初			変 更			摘 要
		数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
コンクリートブロック積工[標準単価] 練積有(胴込+裏込) 0.343m3/m2	m2	10						施工 第 0006号単価表
裏込砕石 粒径0～80mm(無規格品)	m3	2						施工 第 0007号単価表
基礎コンクリート	m	2						施工 第 0008号単価表
天端コンクリート	m	2						施工 第 0009号単価表
目地板 1工事当り使用量:30m2未満	m2	0.2						施工 第 0010号単価表
瀝青繊維質目地板 厚10mm	m2	4						
小口止工	箇所	2						施工 第 0011号単価表
取付け工	式	1						
取付け工	箇所	1						施工 第 0012号単価表
舗装復旧工	式	1						

本 工 事 費 内 訳 書

道路改良工事

費目 / 工種 / 種別 / 細別 / 規格	単 位	当 初			変 更			摘 要
		数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
表層(歩道部) t=5cm 再密AS (13F) 平均幅員:1.4m未満	m2	49						施工 第 0013号単価表
下層路盤(歩道部) 2層施工 厚 250mm RC-40	m2	46						施工 第 0014号単価表
構造物撤去工	式	1						
舗装版切断 アスファルト舗装版 厚15cm以下	m	5						施工 第 0015号単価表
舗装版破碎 15cm以下 AS舗装版 障害無し 騒音振動対策:不要	m2	48						施工 第 0016号単価表
A s 殻運搬 L=9.0km 機械積込 厚15cm以下 DID区間無 良好	m3	2						施工 第 0017号単価表
[新庄](有)門脇産業 アスファルト塊 40cm以下	m3	2						
※※直接工事費※※	式	1						
※※共通仮設費率分※※	式	1						
※※共通仮設費計※※	式	1						

本 工 事 費 内 訳 書

道路改良工事

費目 / 工種 / 種別 / 細別 / 規格	単 位	当 初			変 更			摘 要
		数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
純工事費	式	1						
現場管理費	式	1						
現場管理費率分	式	1						
工事原価	式	1						
一般管理費等	式	1						
工事価格	式	1						
消費税相当額	式	1						
工事費	式	1						

施工内訳表

頁 0-0006

施工 第 0001号单価表

[illegible]

施工内訳表

頁 0-0007

施工 第 0002号单価表

[illegible]

施工内訳表

頁 0-0008

施工 第 0003号単価表

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁 0-0009

施工 第 0004号単価表

[名 称] 埋戻し [規格 1] 機械構成比： 9.57% 労務構成比： 86.79% 材料構成比： 3.64%			[規格 2] 市場単価構成比： 標準単価： 1 m3 当り		
代 表 機 労 材 規 格	構 成 比	単 価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホ(クロー) [後方超小旋回・超低・排対(2014年規制)] 標準バケット容量(山積0.45/平積0.35m3)			バックホ(クロー) [後方超小旋回・超低・排対(2014年規制)] 標準バケット容量(山積0.45/平積0.35m3)		
タンパ° 及びランマ賃料(長期割引) 質量60°80kg			タンパ° 及びランマ賃料(長期割引) 質量 60～80kg		
普通作業員 8時間当り			普通作業員		
特殊作業員 8時間当り			特殊作業員		
運転手(特殊) 8時間当り			運転手(特殊)		
軽油 1・2号 (引取税が課税の場合・パ°トル給油)			軽油 パ°トル給油 小型ローリー		
ガ°ソリン レギ°ュラー スタント°			ガ°ソリン レギ°ュラーガ°ソリン スタント°		
施工方法 = 最大埋戻幅1m未満			費用の内訳 = 全ての費用		

施工内訳表

頁 0-0010

施工 第 0005号单価表

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁 0-0011

施工 第 0006号単価表

[名 称] コンクリートブロック積工[標準単価]					
[規格 1] 練積有(胴込+裏込) 0.343m3/m2			[規格 2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ブロック積工 [手間] 制約無 昼間		m2			
コンクリートブロック 控350-1500*600 394kg	1.000	個			
生コンクリート 18-8-40 W/C≤60 高炉	0.384	m3			
諸雑費	1.000	式			
合計	1.000	m2			
コンクリート積ブロックの規格 = 各種 単位選択 = 個 時間的制約の有無 = 無し			コンクリート積ブロック = コンクリートブロック (控350-1500*600 394kg) 使用個数(個/m2) = 1 夜間作業の有無 = 無し		
練積・空積の区分 = 練積 胴込・裏込コンクリートの数量 = 設計数量を入力 生コンクリートの規格 = 生コンクリート(18-8-40 W/C≤60 高炉)			裏込コンクリートの施工の有無 = 有(胴込+裏込) 胴込・裏込コンクリート使用量(m3/m2) = 0.343 週休2日補正 = 現場閉所(月単位)		
代価表単位 = 1m2当たり					

施 工 内 訳 表

頁 0-0012

施工 第 0007号単価表

[名 称] 裏込碎石			1 m3 当り		
[規格 1]			[規格 2]		
機械構成比： 4.40%		労務構成比： 68.06%	材料構成比： 27.54%	市場単価構成比：	標準単価：
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホ賃料(長期割引) クロー山0.8m3平0.6m3排対1次・2次			バックホ賃料(長期割引) クロー 山0.8m3 平0.6m3(～排2014・超低含)		
普通作業員 8時間当り			普通作業員		
特殊作業員 8時間当り			特殊作業員		
運転手(特殊) 8時間当り			運転手(特殊)		
土木一般世話役 8時間当り			土木一般世話役		
再生クラッシュラン 粒径0～80mm(無規格品)			再生道路用碎石 再生クラッシュラン 40～0mm		
軽油 1・2号 (引取税が課税の場合・ハートル給油)			軽油 ハートル給油 小型ローリー		
費用の内訳 = 全ての費用			再生クラッシュラン = 再生クラッシュラン(粒径0～80mm(無規格品))		

施工内訳表

頁 0-0013

施工 第 0008号单価表

10 m 当り

[illegible]

施工内訳表

頁 0-0014

施工 第 0009号单価表

[illegible]

施工内訳表

頁 0-0015

施工 第 0010号单価表

1	m2	当り
---	----	----

[illegible]

施工内訳表

頁 0-0016

施工 第 0011号单価表

1	箇所	当り
---	----	----

[illegible]

施工内訳表

頁 0-0017

施工 第 0012号单価表

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁 0-0018

施工 第 0013号単価表

[名 称] 表層(歩道部) t=5cm 再密AS (13F)			[規格 2]		
[規格 1]			標準単価：		
機械構成比： 0.45%		労務構成比： 48.62%	材料構成比： 50.93%	市場単価構成比：	1 m2 当り
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t		
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg			振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg		
特殊作業員 8時間当り			特殊作業員		
普通作業員 8時間当り			普通作業員		
土木一般世話役 8時間当り			土木一般世話役		
再生アスファルト混合物⑤ 密粒度アスコン(13F)			再生アスファルト混合物 密粒度13		
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用(カチオン系浸透用)			アスファルト乳剤 PK3 プライム用 PK4タックコート用		
ガソリン レギュラー スタント			ガソリン レギュラーガソリン スタント		
軽油 1・2号 (引取税が課税の場合・パトロール給油)			軽油 パトロール給油 小型ローリー		
平均幅員 = 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 材料 = 各種(2.30以上2.40t/m3未満) 費用の内訳 = 全ての費用			1層当り平均仕上り厚 = 50 瀝青材料種類 = プライムコート PK-3 アスファルト混合物 締固め後密度 = 締固め後密度を考慮しない		

施工内訳表

頁 0-0019

施工 第 0013号单価表

1	m2	当り
---	----	----

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁 0-0020

施工 第 0014号単価表

[名 称] 下層路盤(歩道部)			1 m2 当り		
[規格 1]			[規格 2]		
機械構成比： 5.36%		労務構成比： 69.51%	材料構成比： 25.13%	市場単価構成比：	標準単価：
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
小型バックホウ賃料(長期割引) クローラ山0.11m3平0.08m3排対1次・2次			バックホウ賃料(長期割引) 小型・クローラ 山0.11m3 平0.08m3(～排3次・超低含)		
振動ロー賃料(長期割引) 搭乗式コンバインド型質量3～4t排対1次・2次			振動ロー賃料(長期割引) 搭乗式コンバインド型 3～4t(～排3次・超低含)		
普通作業員 8時間当り			普通作業員		
運転手(特殊) 8時間当り			運転手(特殊)		
特殊作業員 8時間当り			特殊作業員		
再生クラッシャー RC-40			再生道路用砕石 再生クラッシャー 40～0mm		
軽油 1・2号 (引取税が課税の場合・ハートル給油)			軽油 ハートル給油 小型ローリー		
施工区分 = 2層施工 費用の内訳 = 全ての費用 再生クラッシャー = 再生クラッシャー(RC-40)			全仕上り厚 = 250 路盤材 ロス率 = ロス率を考慮しない		

施 工 内 訳 表

頁 0-0021

施工 第 0015号単価表

[名 称] 舗装版切断			1 m 当り		
[規格 1]			[規格 2]		
機械構成比： 15.42%		労務構成比： 57.13%	材料構成比： 27.45%	市場単価構成比：	標準単価：
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ[バキューム式(超低騒音型)・湿式] 切削深20cm級プレート径φ56cm			コンクリートカッタ[バキューム式(超低騒音型)・湿式] 切削深20cm級プレート径φ56cm		
特殊作業員 8時間当り			特殊作業員		
土木一般世話役 8時間当り			土木一般世話役		
普通作業員 8時間当り			普通作業員		
コンクリートカッタプレート 18インチ(径450) 自走式			コンクリートカッタプレート 18インチ(径450) 自走式		
ガソリン レギュラー スタント			ガソリン レギュラーガソリン スタント		
舗装版種別 = アスファルト舗装版 費用の内訳 = 全ての費用			アスファルト舗装版厚 = 15cm以下		

施 工 内 訳 表

頁 0-0022

施工 第 0016号単価表

[名 称] 舗装版破碎 15cm以下			1 m2 当り		
[規格 1]			[規格 2]		
機械構成比： 13.49%		労務構成比： 80.49%	材料構成比： 6.02%	市場単価構成比：	標準単価：
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
後方超小旋回バックホウ賃料(長期割引) クローラ0.45m3			バックホウ賃料(長期割引) 後方超小・クローラ 山0.45m3(～排2014・ 超低含)		
土木一般世話役 8時間当り			土木一般世話役		
運転手(特殊) 8時間当り			運転手(特殊)		
普通作業員 8時間当り			普通作業員		
軽油 1・2号(引取税が課税の場合・パトロール給油)			軽油 パトロール給油 小型ローリー		
舗装版種別 = アスファルト舗装版 騒音振動対策 = 不要 費用の内訳 = 全ての費用			障害等の有無 = 無し 舗装版厚 = 15cm以下		

施工内訳表

頁 0-0023

施工 第 0017号单舨表

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁 0-0024

施工 第 0018号単価表

[名 称] 現場打基礎コンクリート			[規格 2]		
[規格 1]			標準単価：		
機械構成比： 2.24%		労務構成比： 68.05%	材料構成比： 29.71%	市場単価構成比：	1 m3 当り
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホ賃料(長期割引) クローラ・クレーン山0.8m3平0.6m32.9t排対1・2次			バックホ賃料(長期割引) クローラ・クレーン 山0.8m3 2.9t吊(～排2014・超低含)		
バックホ賃料(長期割引) クローラ山0.8m3平0.6m3排対1次・2次			バックホ賃料(長期割引) クローラ 山0.8m3 平0.6m3(～排2014・超低含)		
普通作業員 8時間当り			普通作業員		
型わく工 8時間当り			型わく工		
特殊作業員 8時間当り			特殊作業員		
土木一般世話役 8時間当り			土木一般世話役		
生コンクリート 18-8-40 W/C≤60 高炉			生コンクリート(高炉) 18-8-25(20) W/C=60%以下 B種		
軽油 1・2号(引取税が課税の場合・ハートル給油)			軽油 ハートル給油 小型ローリー		
基礎碎石の有無 = 有り 生コンクリート = 生コンクリート(18-8-40 W/C≤60 高炉)			養生工の種類 = 一般養生・特殊養生(練炭) 加算額 = 加算額なし		

施工内訳表

頁 0-0025

施工 第 0018号单価表

1	m3	当り
---	----	----

[名 称] 現場打基礎コンクリート

[規格 1]

[規格 2]

機械構成比： 2.24% 労務構成比： 68.05%

材料構成比： 29.71%

市場単価構成比：

標準単価：

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁 0-0026

施工 第 0019号単価表

[名 称] 現場打天端コンクリート			1 m3 当り		
[規格 1]			[規格 2]		
機械構成比： 2.63%		労務構成比： 64.40%	材料構成比： 32.97%	市場単価構成比：	標準単価：
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホ賃料(長期割引) クローラ・クレーン山0.8m3平0.6m32.9t排対1・2次			バックホ賃料(長期割引) クローラ・クレーン 山0.8m3 2.9t吊(～排 2014・超低含)		
型わく工 8時間当り			型わく工		
普通作業員 8時間当り			普通作業員		
土木一般世話役 8時間当り			土木一般世話役		
特殊作業員 8時間当り			特殊作業員		
生コンクリート 18-8-40 W/C≤60 高炉			生コンクリート(高炉) 18-8-25(20) W/C=60%以下 B種		
軽油 1・2号 (引取税が課税の場合・ハートル給油)			軽油 ハートル給油 小型ローリー		
養生工の種類 = 一般養生 加算額 = 加算額なし			生コンクリート = 生コンクリート(18-8-40 W/C≤60 高炉)		

施 工 内 訳 表

頁 0-0027

施工 第 0020号単価表

[名 称] コンクリート			1 m3 当り		
[規格 1]			[規格 2]		
機械構成比： 3.79%		労務構成比： 35.68%	材料構成比： 60.53%	市場単価構成比：	標準単価：
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホ賃料(長期割引) クローラ・クレーン山0.8m3平0.6m32.9t排対1・2次			バックホ賃料(長期割引) クローラ・クレーン 山0.8m3 2.9t吊(～排 2014・超低含)		
特殊作業員 8時間当り			特殊作業員		
普通作業員 8時間当り			普通作業員		
土木一般世話役 8時間当り			土木一般世話役		
運転手(特殊) 8時間当り			運転手(特殊)		
生コンクリート 18-8-40 W/C≤60 高炉			生コンクリート(高炉) 24-12-25(20) W/C=55%以下 B種		
軽油 1・2号 (引取税が課税の場合・ハートル給油)			軽油 ハートル給油 小型ローリー		
構造物種別 = 無筋・鉄筋構造物 養生工の種類 = 一般養生 生コンクリート = 生コンクリート(18-8-40 W/C≤60 高炉)			打設工法 = バックホ(クレーン機能付)打設 費用の内訳 = 全ての費用 加算額 = 加算額なし		

施工内訳表

頁 0-0028

施工 第 0021号单価表

[illegible]

施工内訳表

頁 0-0029

施工 第 0022号单価表

1	m2	当り
---	----	----

[illegible]

施工内訳表

頁 0-0030

施工 第 0023号单価表

[illegible]

令和6年災第8608号

村道赤松滝ノ沢線

数量計算書

村道赤松滝ノ沢線 (令和6年災第8608号)

設計数量調書

工 種	種 別	細 別	単位	数 量	摘 要
土 工					
(掘削工)					
	機械掘削	地山・礫質土 BH0.28m ³	m ³	30	27.7
	機械床掘	地山・礫質土 BH0.28m ³	m ³	10	5.7
(盛土工)					
	路床盛土	W<2.5	m ³	1	1.3
(埋戻工)					
	埋戻し	W<1.0 流用土・購入土	m ³	4	R1+R2=2.7+0.9=3.6
	購入土		m ³	3	2.9
(残土処理工)					
	残土処理	L=11.4km プラント受入れ	m ³	30	30.4
擁壁工					
	コンクリート ブロック積工	練積 控350 裏コン15cm	m ²	10	9.5
	裏込碎石	再生C-80	m ³	2	2.4
	基礎コンクリート		m	2	2.4
	天端コンクリート		m	2	2.4
	目地材 材工共	瀝青繊維質 t=10mm	m ²	0.2	0.20
	目地材 材料のみ	瀝青繊維質 t=10mm	m ²	4	4.10
	小口止工(1)・(2)		箇所	2	コン1.02m3,型枠8.20m2,基面整正0.3m2(1箇所当り)
取付工					
	取付工	植生土のう 小口積	箇所	1	植生土のう積 4.70m ²
舗装復旧工					
(車道舗装工)					
	表層工	再生密粒度As(13F) t=5cm	m ²	49	48.7

[illegible]

立積計算書

測点	距離	機械掘削(C1)					
		断 面 積	平 均 値	立 積	断 面 積	平 均 値	立 積
NO.0	0.00	7.0					
NO.0+3.00	3.00	3.5	5.25	15.8			
NO.0+6.40	3.40	0.2	1.85	6.3			
NO.0+12.00	5.60	0.5	0.35	2.0			
NO.0+17.00	5.00	0.5	0.50	2.5			
NO.0+19.00	2.00	0.6	0.55	1.1			
合計	19.00			27.7			

立積計算書

測点	距離	機械床掘(C2)					
		断 面 積	平 均 値	立 積	断 面 積	平 均 値	立 積
NO.0	0.00	1.9					
NO.0+3.00	3.00	1.9	1.90	5.7			
NO.0+3.00	0.00	0.0	0.95	0.0			
NO.0+6.40	3.40	0.0	0.00	0.0			
NO.0+12.00	5.60	0.0	0.00	0.0			
NO.0+17.00	5.00	0.0	0.00	0.0			
NO.0+19.00	2.00	0.0	0.00	0.0			
合計	19.00			5.7			

平立積計算書

測点	距離	路床盛土(B1) W<2.5(購入土)					
		長、断面積	平 均 値	平 立 積	長、断面積	平 均 値	平 立 積
NO.0	0.00	0.0					
NO.0+3.00	3.00	0.0	0.00	0.0			
NO.0+6.40	3.40	0.3	0.15	0.5			
NO.0+12.00	5.60	0.0	0.15	0.8			
NO.0+17.00	5.00	0.0	0.00	0.0			
NO.0+19.00	2.00	0.0	0.00	0.0			
合計	19.00			1.3			

平立積計算書

測点	距離	埋戻し(R1)(W<1.0)(流用土)					
		長、断面積	平 均 値	平 立 積	長、断面積	平 均 値	平 立 積
NO.0	0.00	0.9					
NO.0+3.00	3.00	0.9	0.90	2.7			
NO.0+3.00	0.00	0.0	0.45	0.0			
NO.0+6.40	3.40	0.0	0.00	0.0			
NO.0+12.00	5.60	0.0	0.00	0.0			
NO.0+17.00	5.00	0.0	0.00	0.0			
NO.0+19.00	2.00	0.0	0.00	0.0			
合計	19.00			2.7			

平立積計算書

測点	距離	埋戻し(R2)(W<1.0)(購入土)					
		長、断面積	平 均 値	平 立 積	長、断面積	平 均 値	平 立 積
NO.0	0.00	0.3					
NO.0+3.00	3.00	0.3	0.30	0.9			
NO.0+3.00	0.00	0.0	0.15	0.0			
NO.0+6.40	3.40	0.0	0.00	0.0			
NO.0+12.00	5.60	0.0	0.00	0.0			
NO.0+17.00	5.00	0.0	0.00	0.0			
NO.0+19.00	2.00	0.0	0.00	0.0			
合計	19.00			0.9			

土工集計表

種 別	細 別	規 格	単位	総括表数量	作業区分		掘削	床堀	路床盛土	路体盛土	埋戻し		備 考
					調達区分				購入土	流用土	購入土	流用土	
					土量変化率	使用率	砂質土及び砂	砂質土及び砂		砂質土及び砂		砂質土及び砂	
掘削工													
	機械掘削	(C1) 0.28m3BH	m3	27.7	1.000	1.000	27.7						
	機械床掘	(C2) 0.28m3BH	m3	5.7	1.000	1.000		5.7					
盛土工													
	路床盛土(購入土)	(B1) W<2.5	m3	1.3	1.333	1.000			1.7				
	埋戻し(流用土)	(R1) W<1.0	m3	2.7	1.111	1.000						3.0	
	埋戻し(購入土)	(R2) W<1.0	m3	0.9	1.333	1.000					1.2		
							発生土 27.7	発生土 5.7	購入土 1.7	流用土 0.0	購入土 1.2	流用土 3.0	
							切土計 33.4				購入土計	2.9	残土合計 33.4-3.0=30.4
											流用土計	3.0	

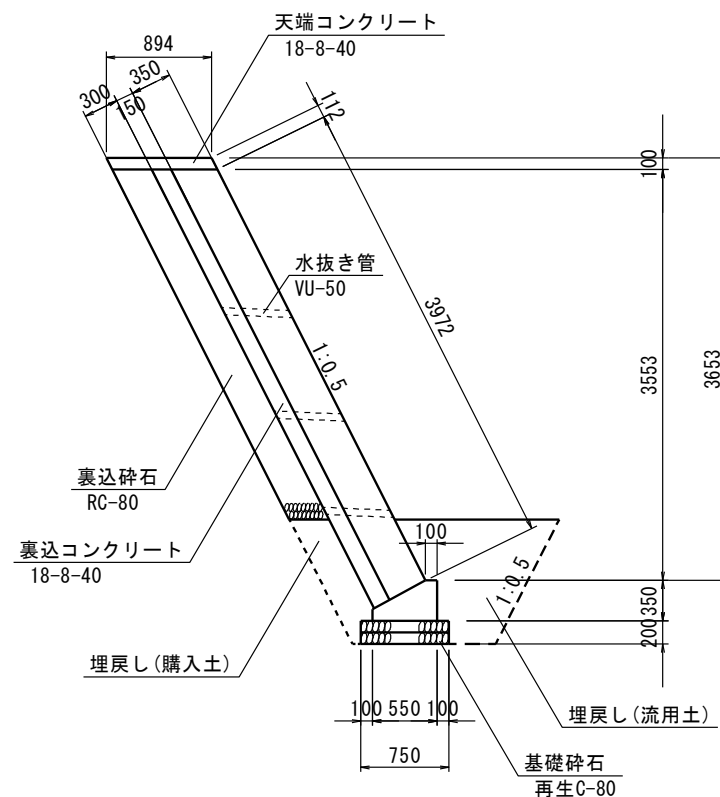
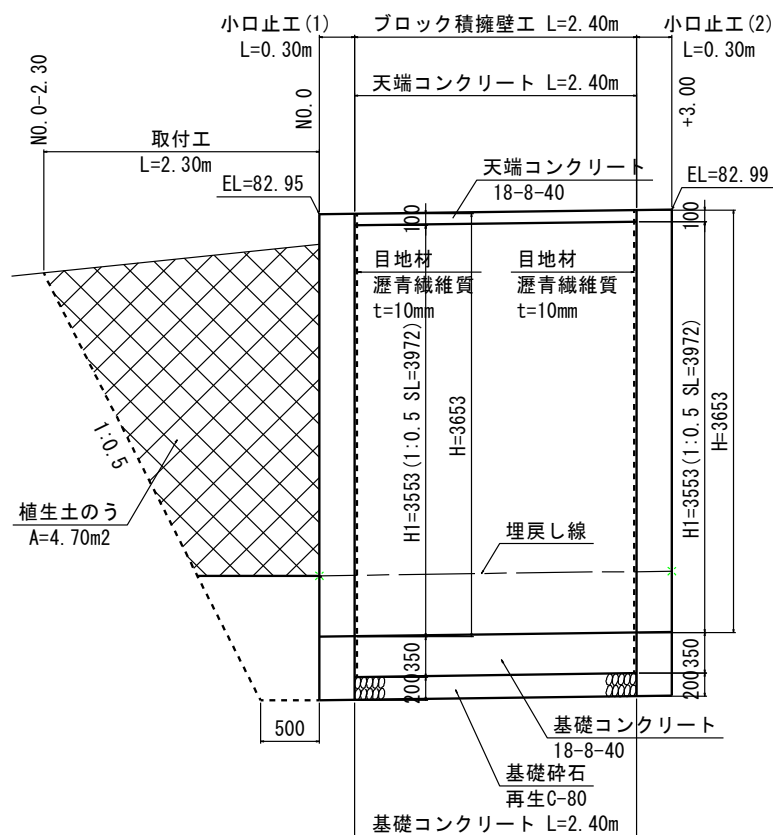
第 号計算書 コンクリート練積ブロック工(その1)

計 算 書

区 分 符 号

略

図



※ 注記：H, SLは、ブロック積擁壁工展開図に示す。

※ 水抜きパイプは2.0m²に1箇所設置する。

第 号計算書		コンクリート練積ブロック工(その2)		計 算 書	
区 分	符 号	算 式	数 量	略 図	
コンクリートブロック積 練積	控350	$A=3.97 \times 2.40$	$= 9.5$	m^2	(裏込・胴込コンクリート0.348m3/m2)
裏込碎石	再生C-80	別紙計算書より	$= 2.4$	m^3	
基礎コンクリート		$L=2.4$	$= 2.4$	m	
天端コンクリート		$L=2.4$	$= 2.4$	m	
水抜きパイプ	VU φ 50	別紙計算書より ※参考数量	$= 2.0$	m	
目地材	t=10mm 天端コン	材工共: $A1=0.894 \times 0.10 \times 2$	0.2	m^2	
	ブロック	材料のみ: $(3.97+3.97) \times 0.50 + (0.50 \times 0.25 \times 1/2) \times 2$	4.1	m^2	
小口止(1)・(2)		コン1.02m3,型枠8.20m2,基面整正0.3m2	2	箇所	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

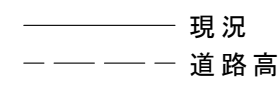
平積計算書

測点	距離	表層工			路盤工		
		幅	平 均 幅	面 積	幅	平 均 幅	面 積
NO.0	0.00	3.03			2.77		
NO.0+3.00	3.00	2.77	2.90	8.7	2.52	2.65	8.0
NO.0+6.40	3.40	2.65	2.71	9.2	2.41	2.47	8.4
NO.0+12.00	5.60	2.67	2.66	14.9	2.56	2.49	13.9
NO.0+17.00	5.00	2.09	2.38	11.9	2.00	2.28	11.4
NO.0+19.00	2.00	1.94	2.02	4.0	2.04	2.02	4.0
合計	19.00			48.7			45.7

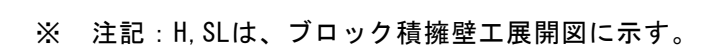
第 号計算書		構造物撤去工(アスファルト舗装) 1 式		計 算 書	
区 分	符 号	算 式	数 量	略 図	
舗装版切断工	アスファルト舗装 t=5cm	舗装撤去工数量根拠図より			
		$L=L1+L2=2.4+2.1=4.5$	= 4.5 m		
舗装版破碎工	アスファルト舗装 t=5cm	舗装撤去工数量根拠図より			
		$A=48.0$	= 48.0 m ²		
アスファルト殻運搬		$V=48.0 \times 0.05=2.40$	= 2.4 m ³		
アスファルト殻処分			2.4 m ³		



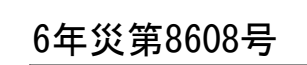
V=1:100
H=1:250



標準断面図 S=1:50

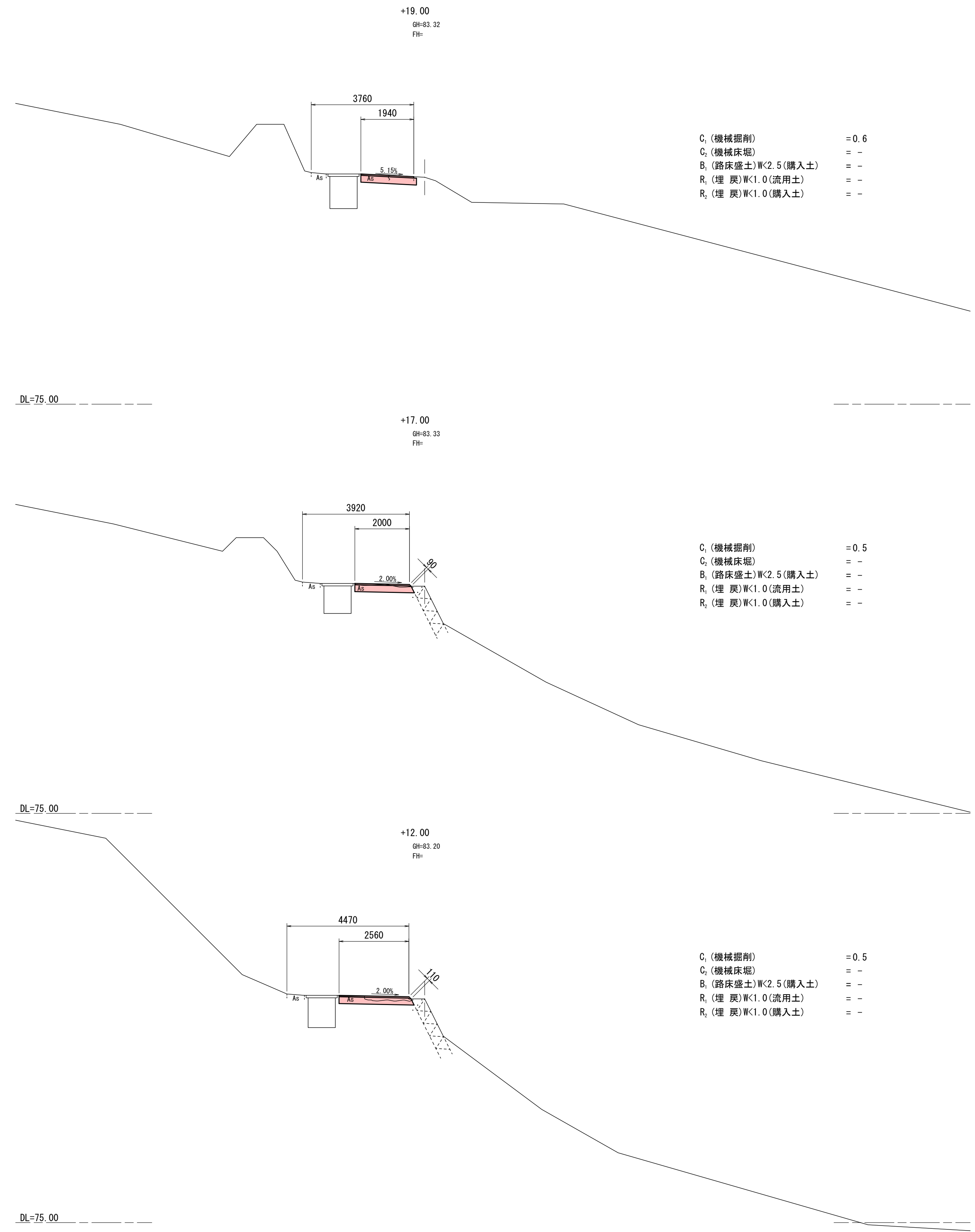
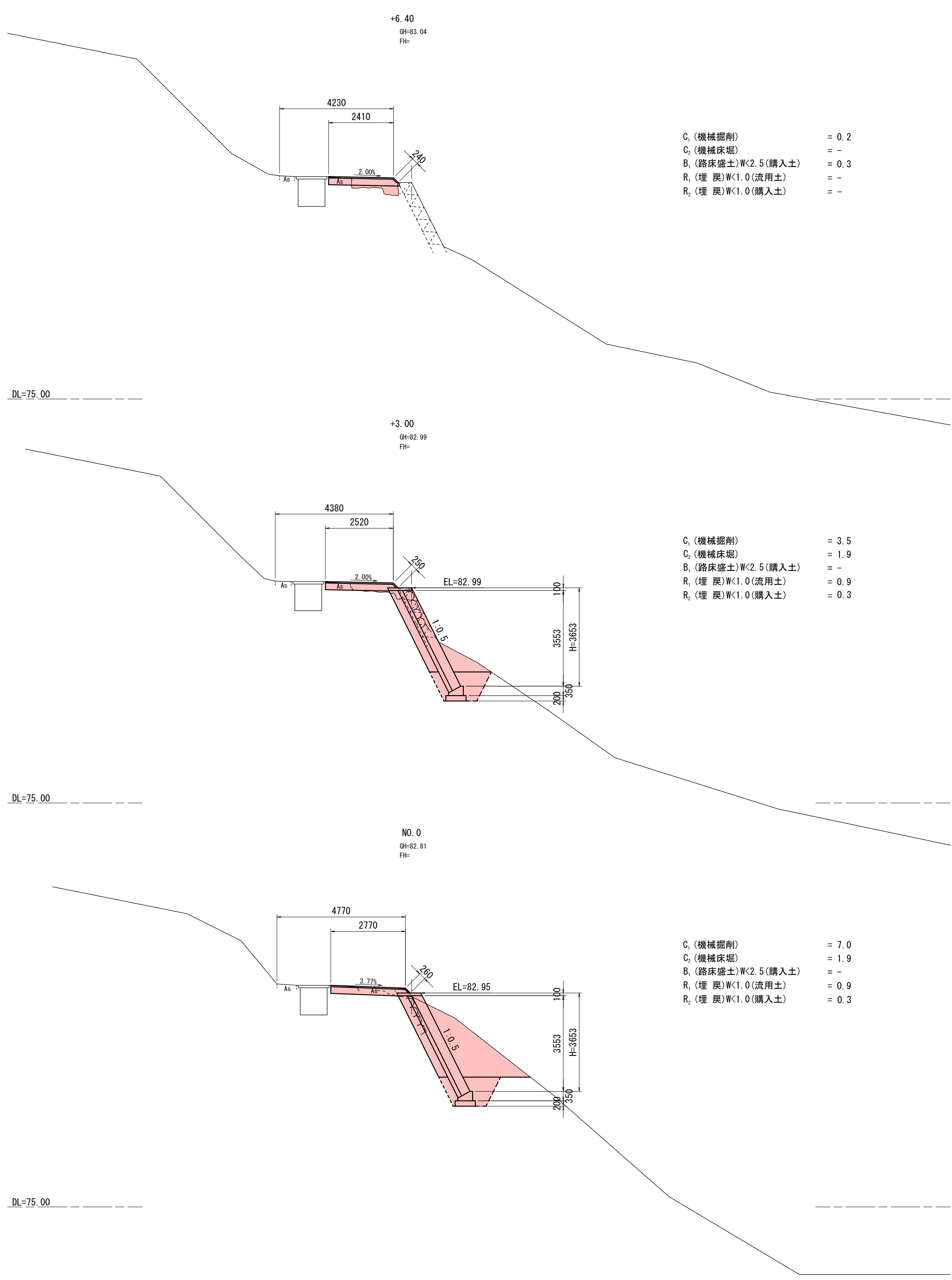


位置図 S=1:25,000



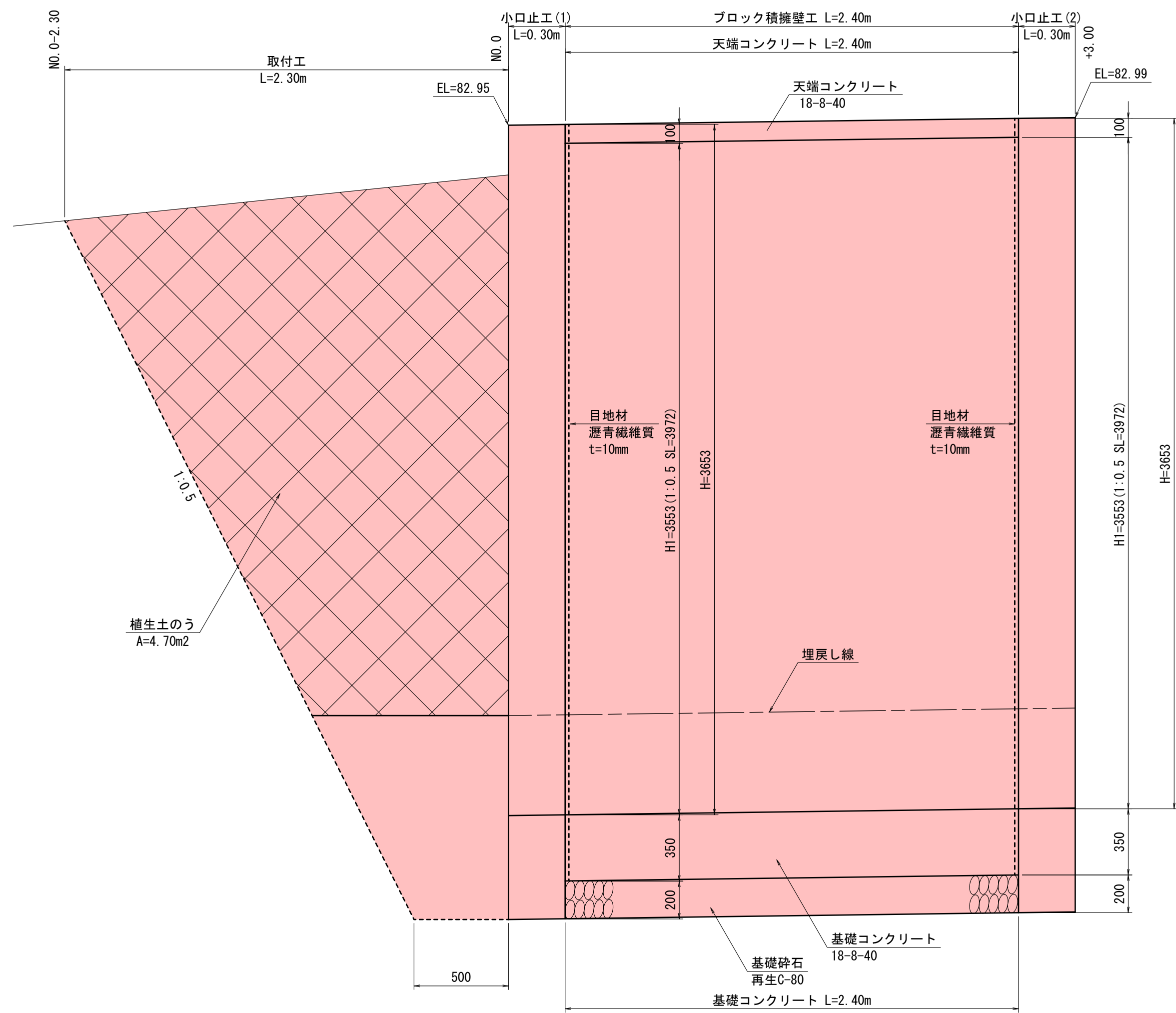
实施

令和 6 年度	図 番	3 葉 1
路線名又は 河 川 名	村道赤松滝ノ沢線	
工事名	道路災害復旧工事	
位 置	最上郡大蔵村大字赤松字榎ヶ沢地内	
平面図・縦断図・標準断面図		1 葉 1
縮 尺 図 示	大 蔵 村	

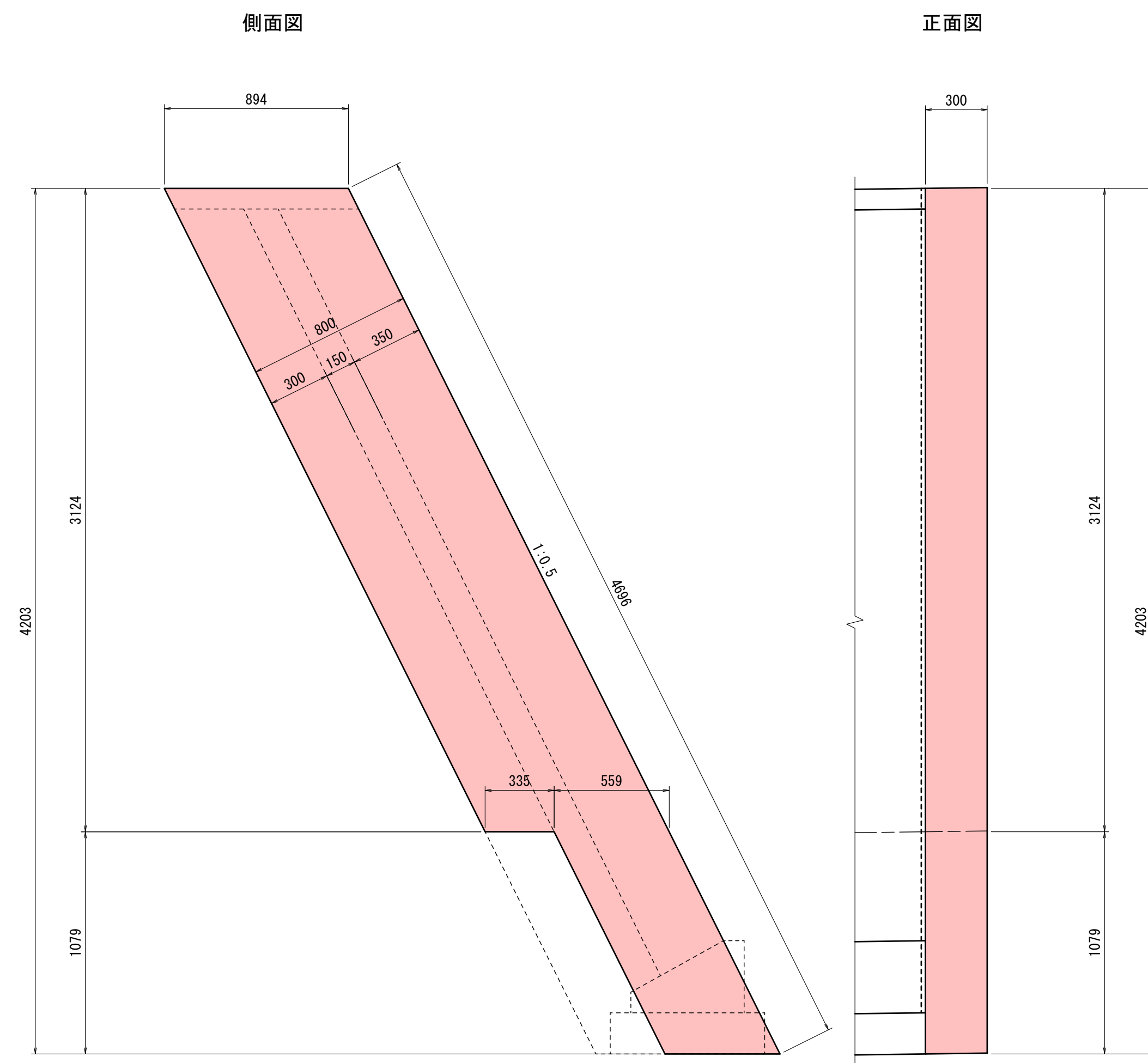


6年災第8608号				実 施	
令和 6 年度		図 番		3 葉 2	
路線名又は河川名		村道赤松滝ノ沢線			
工事名		道路災害復旧工事			
位 置		最上郡大蔵村大字赤松字榎ヶ沢地内			
横断面図					
1 葉 1					
縮 尺 S=1:100			大 蔵 村		

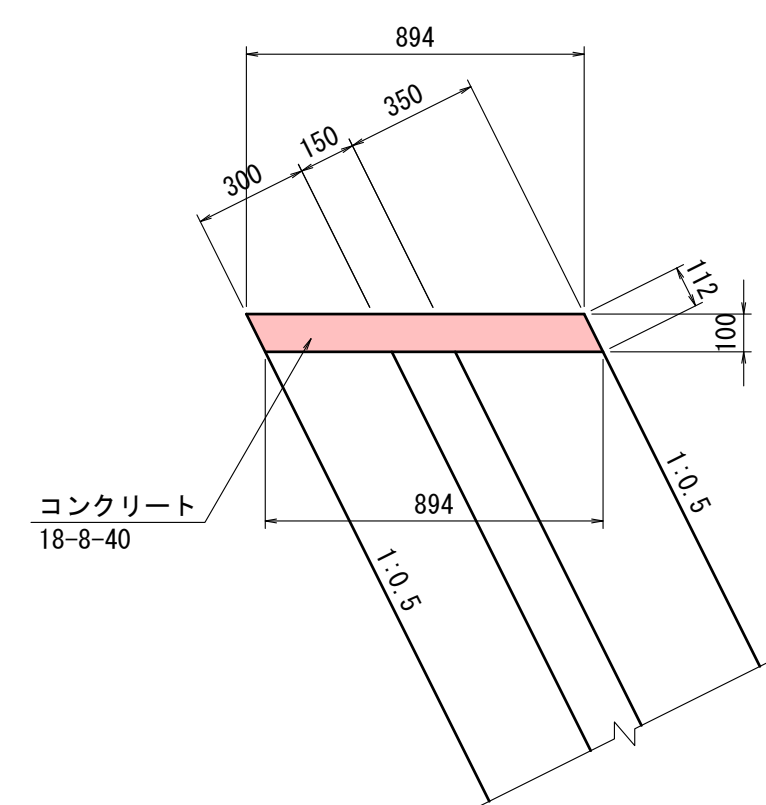
ブロック積擁壁工展開図 S=1:20



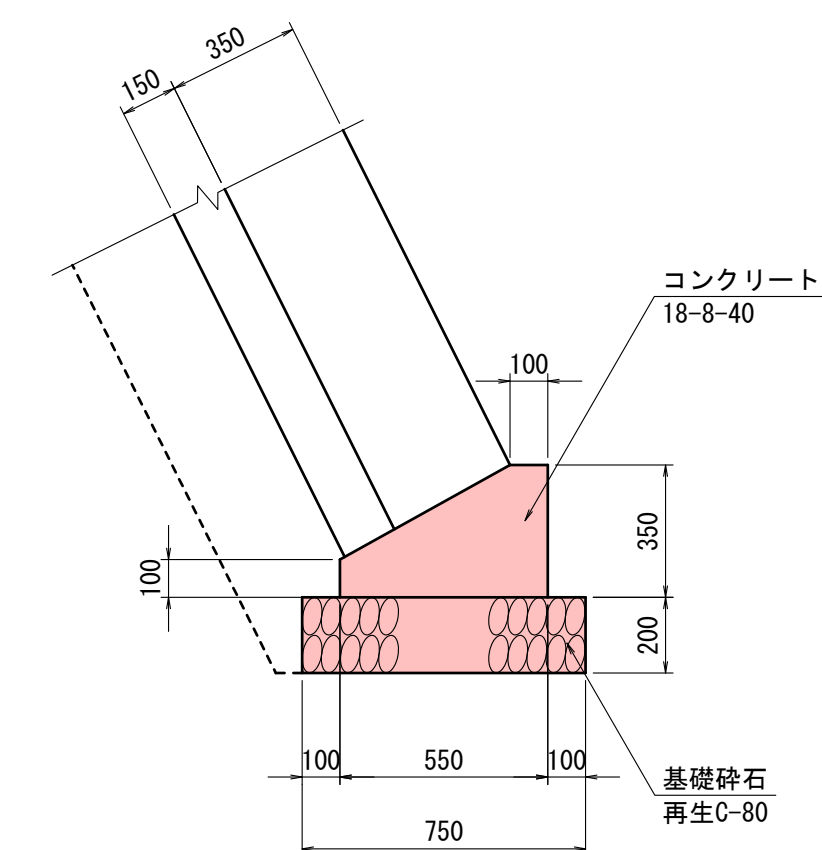
小口止工構造図 S=1:20



天端コンクリート断面図 S=1:20



基礎コンクリート断面図 S=1:20



6年災第8608号				実 施	
令和 6 年度		図 番		3 葉 3	
路線名又は河 川 名		村道 赤松 滝ノ沢 線			
工事名		道路災害復旧工事			
位 置		最上郡大蔵村大字赤松字楯ヶ沢地内			
構造図				1 葉 1	
縮 尺 図示		大 蔵 村			

6年災第8608号(繰越) 村道赤松滝ノ沢線道路災害復旧工事 特記仕様書

1. 週休2日確保工事（発注者指定型）

- 1 本工事は月単位の4週8休以上の現場閉所を実施する発注者指定型の週休2日確保工事である。実施にあたっては「大蔵村建設工事における週休2日確保工事实施要領」に基づくため、詳細については、実施要領を確認すること。
- 2 発注者は、当初（発注）時において月単位の4週8休以上の現場閉所に応じた経費の補正を行い工事費を積算しているため、現場閉所が月単位の4週8休に満たない場合は、通期の週休2日の補正係数に変更するものとし、通期の4週8休に満たない場合は、通期の週休2日の補正係数を除して、工事費を積算するものとする。
- 3 発注者は、週休2日確保工事において月単位の4週8休以上の現場閉所を達成した場合、主任（監理）技術者に対して「週休2日確保工事实施証明書」を受注者の求めに応じて発行するものとする。
- 4 受注者は、工事名標示板に月単位の週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。明示の方法は下図を参考にするものとし、監督職員と協議し決定する。

ご迷惑をおかけします
この工事は「週休2日」確保に取り組んでいます
〇〇〇〇〇〇を 行っています
令和 〇年 〇月 〇日まで 時間帯 〇〇:〇〇~〇〇:〇〇
〇〇〇〇〇〇工事
発注者 山形県〇〇総合支庁 建設部〇〇課 電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
受注者 〇〇〇〇建設株式会社 電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

（図）工事標示板への明示の例

2. 建設副産物関係

- 1 本工事により発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、建設発生木材、アスフ

ァルト・コンクリート塊）は、再資源化施設に搬出するものとする。特に、下記に示す特定建設資材廃棄物の搬出先はそれぞれ次の条件も満たすものとする。

【コンクリート塊】

規格品の再生クラッシャーラン（RC-40）として再資源化している再資源化施設

【アスファルト・コンクリート塊】

再生加熱アスファルト混合物の原材料として再利用している再資源化施設（アスファルトプラントでなくても、そのアスファルト塊が、最終的に再生加熱アスファルト混合物として利用されることが確認できる施設でも可）

- 2 建設リサイクル法第6条に規定する「建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担」に基づき、条件明示する特定建設資材廃棄物の搬出施設は、下記のとおりである。

【アスファルト塊】

- ①受け入れ場所 : 山形県最上郡舟形町堀内1522
- ②再資源化施設名 : 有限会社 門脇産業

3. 残土受け入れ地

- 1 本工事の残土受入地は、新庄市の一般財団法人最上建設クラブとする。

